

## アメリカ美術の《勝利》

### — 現代美術の地政学 —

講師：尾崎信一郎（鳥取県立博物館副館長）

日時： 6月10日（金）16:20～17:50

場所： 大阪大学文学部ドイツ文学研究室（本館4F）

内容： 美術史を形成するのは作品ではなく、言説と制度である。第二次世界大戦後、モダニズム美術の主流はフランスからアメリカ、パリからニューヨークへと移る。むしろこのような移行を形式的に論証するために「モダニズム美術」という体系が創設されたといってもよいだろう。この過程において、批評家の言説、美術館や展覧会といった制度がいかなる役割を果たしたかを検証し、「アメリカ美術の勝利」の内実を分析する。

主催 大阪大学グローバルCOEプログラム「コンフリクトの人文学」／  
「美的近代におけるローカリズムと反ローカリズム」研究PT

問合せ 大阪大学文学研究科ドイツ文学研究室（06-6850-5116）